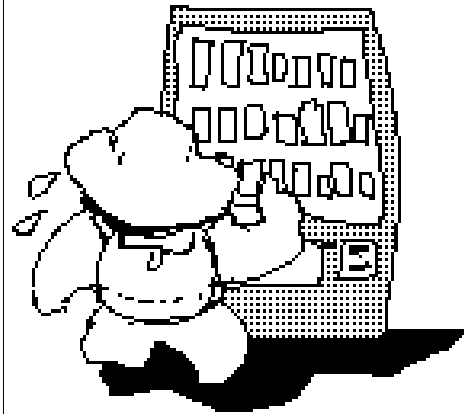


GNOMES



暑さの中、仕事は暇で遊んでいますが、相変わらずあちこちばたばたと走り回っています。自宅の竹の塚から松原団地まで片づけものの手伝いででかけそのあと北千住へ一杯飲みに行ったり、急にやることを思い出して両国の事務所まで走ったりと自転車で走り回っていますが、どこも急がなくても30分から1時間位で着きます。大きな荷物を運ぶ以外はまったく不自由がありません。

暑さにもまいていきましたがお盆に三陸海岸の田舎へ行ったらそこは雨で寒くてストーブを焚いていました。遠出は出来なかったが雨の合間に近くの山間に湧く「山姥の清水」に水を汲みに行きました。車で山あ

いにはいり、後は歩いて100m程流れの中を遡った所に清流が溢れ出していました、家から30分で着いてしまいます。黒部の親戚の家の裏庭にも山の伏流水がこんこんとわき出していて実に冷たくおいしい。今時最高の贅沢だと思ったが東京へ帰ってくると逃げ場のない環境の中、そこにある水で文句も言えずに過ごしています。東京はあほなアザラシが間違っやってきたりもするが生き物としての人間が住める範囲から離れ過ぎてきたようだ。もっとも田舎へ行けば働くところがないという話に花が咲くが、しかしそれはしかたのないことなので、本当は人間が生きていくのにそれほど大量の物を作って世の中に回転させなくてもいいのに、大都会が生きていくために無理して仕事を作り出して沢山の人が働いていることが、小さい町の中から見るとはっきり見えます。

しかしとりあえず暑さの中であえぎながら都会のオアシス自動販売機にたどりつく、あまりの種類の多さにびっくりします。各々5種類以上のコーヒー、紅茶、日本茶、その他の茶、清涼飲料水、サイダー類。果ては、オレンジゼリーからイチゴミルク、ぜんざい、酒やビール、焼酎、電気ブランなどと道のあちこちに散在しているのです。あれを見ていつも思うのですが、全部売れるのだろうかということです。売れる物をより多く売るために、売れそうもないものも作って枯木も山のにぎわいで並べる気持ちはわかりますが、万一、その、ずーっと売れてなくてその道ばたにずーっとあったやつを買ってしまったらと考えると恐くなります。しかし、あれはまじめな日本の企業のやることですから、古い物はどこかへ捨ててしまうのでしょうか。そんなもったいないことがいつまでできるのかなと思います。見かけはかっこよくなくても地道にしぶとく、あたりまえのことをあたりまえにやるようにもっとしなければと思いました。地道な生き方を模索しています。

ノームはこのごろ絵本を作っています。友人達の来訪はいつでも歓迎します。

携帯は解約しました。連絡はメールか普通の電話でお願いします。

<http://www.interq.or.jp/japan/gnomes/gnomes1>

TEL/FAX 03-5600-0195 高村 哲 GnomesJpn@aol.com